



# 若あゆ



## ツツジの花言葉

校長 笠原 実

給食の時間には毎日、5・6年生の放送委員が昼の校内放送をしてくれています。今年度も、給食が始まったと同時にお昼の放送がスタートしました。私がたまたま職員室にいる時でした。その日の担当であろう放送委員さんが、困った様子で「すみません。今月の歌は何か知りませんか？」と尋ねに来ました。年度の始めで、連絡がうまく伝わっていなかったのだと思います。資料を確認し「校歌だね。」と答え、予想していた曲を何曲か探していたのでしょうか、「校歌が見つからないんです。」との返答。どうしたものかと考えていると、「何とかします。大丈夫です！」ときっぱり。結局何事もなかったかのように、いつものお昼の放送が校内に流れていました。岸町小学校は、何があっても大丈夫だと確信した出来事でした。あの放送委員さんの頼もしさ。私が見習いたいです。

5月は新緑の季節。若々しい青葉や色とりどりの花々が一斉に咲き乱れる美しく、清々しい季節です。この時期の代表的な花に「ツツジ」があります。少々日かげの条件の悪い場所でも育ち、常緑のものが多いため、公園や庭のガーデニング、生垣などに重宝されています。普段は小さめの葉が生い茂り、あって当たり前で目立たない存在ですが、一旦花が咲くと、とても鮮やかな色彩でそこかしこに咲き誇り、一気に存在感を醸し出します。ちなみに、ツツジの花言葉は「慎み」（つつしみ）。普段は目立たず、おしとやかな様子が花言葉になったのでしょうか。

いつも、当たり前のように流れている放送も、実は影で、放送委員さんの様々な準備や工夫、努力によって支えられていることに気付かされました。そして、何かトラブルが起こった時でも、慌てず、柔軟に対応できるのは、日頃からの様々な経験を積み重ね、それが自分の底力を鍛えているのだと実感しました。5月21日（土）には運動会、その後も開校70周年記念の行事が予定されています。特に慎み深く、縁の下の力持ちを担ってくれている高学年の子どもたちが、そういった行事の中で、鮮やかな花を咲かせることができるように、私たち教職員は、体験的な学習を心がけ、子どもの頑張りをしっかりと見届けなければならないと、気持ちを引き締めました。

昨年度から、5月1日は「さいたま市民の日」と制定されました。2回目を迎える市民の日当日は、市の21歳のお誕生日をお祝いして、うらわ美術館や大宮盆栽博物館などが無料で入れるそうです。岸町小学校では、4月28日（木）の給食を「さいたま市民の日献立」として、市内で採れたスイスチャードと小松菜の入ったサラダや、市のキャラクター「つなが竜又ウ」が描かれたオレンジゼリー等を提供する特別給食を実施します。ゴールデン・ウィークには、コロナ感染防止に十分気を付けながら、家族でさいたま市の文化や歴史に親しんでみてはいかがでしょうか。